

# トライ・明日！自分探しの旅へ

## ■ 事業のねらい

冒険活動をととして、自分自身と向き合うことで、自分の持つ潜在的な力を引き出し、成功・達成体験から自尊心の向上を図るとともに、集団生活をととして、「よりよい人間関係」について体験的に学び、協調性や社会性の向上を図る。



- 実施日 平成23年6月14日（火）～19日（日）5泊6日
- 参加対象 心に悩みを持つ小学4年生～高校生 20名
- 参加実績 参加者：7名  
 小5＝1名、中2＝3名、中3＝3名  
 男子＝2名、女子＝5名  
 運営協力者：7名  
 引率教諭3名、釧路教育局1名、釧路市教委2名  
 ボランティア1名
- 備考 協力：釧路教育局、釧路市教育委員会  
 活動場所：厚岸少年自然の家、標茶町、中標津町

## 1 事業実施の背景

公立小・中学校の不登校児童生徒数は、平成20年度4,150人、平成21年度4,184人となっており、34人の増加。中学生は、平成10年度から3,000人を超え、若干の増減があるものの横ばい傾向にある。

また、不登校児童生徒に対する指導の結果、登校する、または、できるようになった割合は、全体の29.9%となっている。

昨年度の不登校児童生徒対象事業では、参加者12名中、原籍校登校が4人、毎日登校1人、教室には入れる1人、などの変容が見られた。

本事業は、このような現状と昨年度までの成果と課題を受け、実施するものである。

## 2 プログラムデザイン

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
14 火					受付		昼食	準備	ネパール厚岸→太田 12km【3時間58分】				夕食	ふりかえり 自由時間	就寝 準備		
15 水	起床	朝食	準備	厚岸町太田→標茶町中茶安別 20km【6時間35分】					夕食(炊事)				就寝 準備				
16 木	朝食	移動	標茶駅→西別岳入り口(分岐)31km【10時間12分】 標茶駅→虹別市街22km【7時間12分】							夕食	就寝 準備						
17 金	起床	朝食(炊事)		活動準備 昼食		ワゴン車・レンタカー移動 温泉体験(養老牛温泉)			夕食(炊事)				自由 時間	就寝 準備			
18 土	起床	朝食 弁当	清掃 準備	西別岳登山 昼食：下山後弁当				厚岸移動	荷物 片付け	達成パーティ				自由時間 就寝 準備			
19 日	起床・準備 清掃		朝食	ふりかえり 片付け			昼食	閉会									

## ■ アクティビティについて



## ■ 意図

- 長距離歩行移動や登山などの冒険的な活動を取り入れることにより、精神的・身体的ストレスと、その困難を克服する体験をさせる。
- 成功体験やそれに伴う達成感を味わうことにより、仲間との共感的理解と自尊心の回復(向上)を図る。
- 活動をふりかえりながら、自己の変容に気付かせ、対人関係能力などの潜在的な「力」を引き出し、さらなる挑戦に向けての意欲付けを図る。

## ■ 留意事項

- 参加者全員が成功体験と達成感を味わうために、歩行中、一人ひとりの様子に目を配り、よりきめ細かな個に応じた活動支援を心がける。

### 3 活動の様子



#### ■ 活動の様子

小雨が降る14日に厚岸町愛冠のネイパル厚岸を出発した後、子どもたちは、厚岸町太田地区、標茶町中茶安別地区を経由して標茶町虹別の西別岳(799m)までの徒歩移動約60kmを3日間かけて歩ききった。徒歩移動中の宿泊先では、釧路市教育委員会社会教育主事の牧野一彦氏、治田理知氏より安全に歩くための心構えのお話や脚の疲れを回復させるためのストレッチを教してもらいながら、ケガなく安全に歩くことができた。

その後、神の子池を見学するなどして1日体を休め、18日には、西別岳登山に挑戦。釧路教育局社会教育指導班主査の会田大祐氏の指導のもと、無事全員がリスケ山の頂上に立つことができた。夜には、家族を交えて「達成パーティー」を行い、これまでのがんばりをたたえ合った。

最終日には、6日間の活動の映像を見ながら、ふり返った後、共に励まし合い助け合った仲間へメッセージを送るとともに、支えてくれた先生方やスタッフから参加者へエールが贈られた。

#### ■ 参加者の声

- 腰や足が痛くなったけど、それでも5泊6日のトライを最後までやれたのがうれしかった。みんなでごはんを作ったり、はげましあったりしたからできたと思いました。(中2)
- この5泊6日の旅は、すごく歩いたし仲間との交流も深まりました。ものすごく楽しい旅でした。(中2)
- こんなに長い距離を歩いたことがなくて、今まで全然歩く楽しさも分からなかったし、友達を助けることをやってなかったので、初めてみんな(仲間)と一緒に、脚や腰が痛かったけど助け合いながら6日間頑張ることができました。(中3)

### 4 事業評価



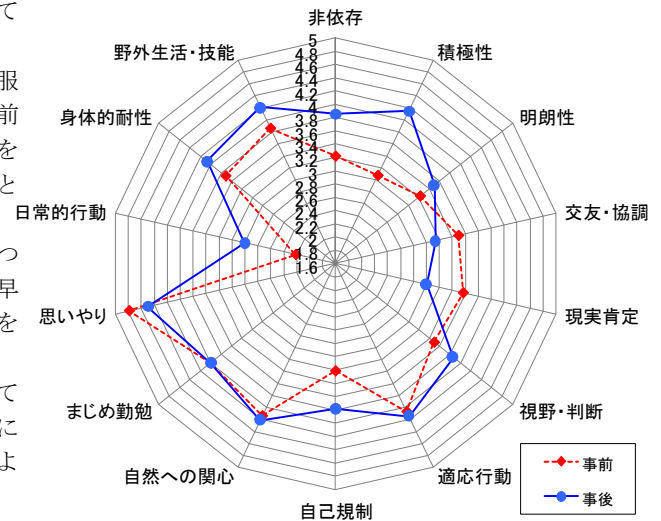
#### ■ 参加者の変容【IKR調査結果】

全体としては、3.3ポイントの向上の変容が見られた。大きな変容を示したのは、「積極性」が1.1ポイント、続いて「日常的行動」が0.8ポイントであった。「非依存」は0.6ポイント、「自己規制」は0.6ポイントの向上が見られた。

#### ■ 結果の分析・考察

「積極性」の向上については、「歩く活動」や「登山」を通じて、困難な活動を克服し、やり遂げたことより、前向きに物事を考えられる力を身に付けたことによるものと推察できる。

「日常的行動」の向上については、事業期間中、早寝早起きなどの規則正しい生活を送れたことと、「歩く活動」を通じて、からだを動かしても疲れにくいという、体力に対して自信を持てたことによるものと推察する。



### 5 まとめ



#### ■ 成果

- 釧路市教育委員会社会教育主事に歩行中の安全管理やストレッチの紹介、山小屋でのミニ講和等を担当していただくなど、関係機関の協力により、質の高い充実したプログラムとすることができた。
- 事業後、引率教諭から、「普段学校では見ることができない子どもたちの様々な表情が見られた」「日常の生活から離れて、自然に親しむことや自然に触れることがどれほど自分自身を見つめ直すことにつながるか実感できた」「子どもの心の変化や成長に大きな影響を与える体験学習だった」という声が聞かれるなど、事業のねらいに近づくことができた。

#### ■ 課題・今後の方向性

- 事業後の子どもたちの変容について追跡調査をしたり、ふりかえりのための事業を実施するなど、継続的に取り組んでいく必要がある。